

生活者の「生涯学習」に伴走する -中国帰国者の日本語学習支援の例から-



2014・01・26 さぼうと21
日本語ボランティアパワーアップ講座～理解を深める講座編～
中国帰国者定着促進センター教務 安場 淳

 [http://www.kikokusha-center.or.jp/
an-chang\(a\)kikokusha-center.or.jp](http://www.kikokusha-center.or.jp/an-chang(a)kikokusha-center.or.jp)

0. 統計からみる「帰国者」

★ 「帰国者」 (2013/11 厚生労働省資料)

- 中国残留邦人：残留 孤児／婦人＋同伴家族
- 樺太(サハリン)残留邦人

+ 後からの呼び寄せ家族 (自費帰国)

★ 中国／サハリンからの 国費帰国者総数：

世帯≡帰国者本人数 中6701+ 露108 = 6794世帯
中20872+ 露273 =21126人

※ 国費・自費合わせて1～3世帯帰国者数は推計8～10万人

中国帰国者孤児・婦人 1～3世の平均年齢

2013/03現在

(但し、国費帰国の所沢修了生のみ)



1.生活者としての中国帰国者

1-1. 日本社会にとっての 中国(樺太)帰国者受け入れ経験の意味

- 政府：戦後処理の一環
- 行政：異文化の住民の定住援護
- 日本語教育：生活者が長期に渡り大規模に日本全国に移入し、場面シラバスによる教材開発を促した初のケース  1983 文化庁『生活日本語』

※ 帰国者特有の事情：「帰国者」であること

中国帰国者等への公的支援策

◆ 定着・自立援護施策

- ・ 中国帰国者定着促進センター、同支援・交流センター
- ・ 自立指導員の派遣、自立支援通訳、巡回健康相談の実施
- ・ 日常生活上の相談及び自立に向けての各種指導など

◆ 中国残留邦人等に対する新たな支援策

- ・ 老齢基礎年金等の満額支給と支援給付
- ・ 地域社会における生活支援
- ・ 中国残留邦人等への理解を深めるシンポジウムの開催

[☞ 厚労省ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 他分野の取り組み > 戦没者遺族等への援護 > 中国残留邦人等への支援](#)

2. 帰国者(生活者)への学習支援 ～所沢センターが学んだこと～

2-1. 鉄則

1. 異文化で生きるための全ての領域が対象
2. 「援助」ではなく、本人が環境から
自ら学ぶ力の習得を支援
3. 人ごとに/人生の節目ごとに変わる
ニーズとアプローチ

2-2. 帰国者の日本語学習支援体制

即日本社会に放り込まれた人 }
初期研修を受けた人 } 習得度の違い→尾を引く

① 初期に可能な限りの集中研修と

② 生涯学習に“伴走”する中長期的な支援体制を!

2-2-① 来日(帰国)初期の集中研修

★初期研修の4つの柱

→経験則:互いにある程度独立していることが必要 特にaとb

a サバイバル行動力

b コミュニケーション力

c 日本事情

地域住民の方々とのコミカ交流実習 ↑

d 自己学習継続のための知識と技能



http://www.kikokusha-center.or.jp/tokorozawa/kenshu/shokikenshu_top.htm

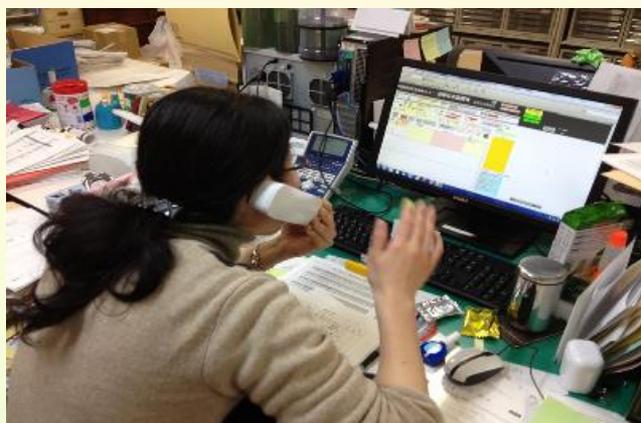
👉 所沢センターHOME > B) 所沢センター > 初期研修

いろいろな行動場面で



2-2-② 生涯学習に“伴走”する長期的な支援体制

「いつでも・どこでも」学べる遠隔学習システムへ

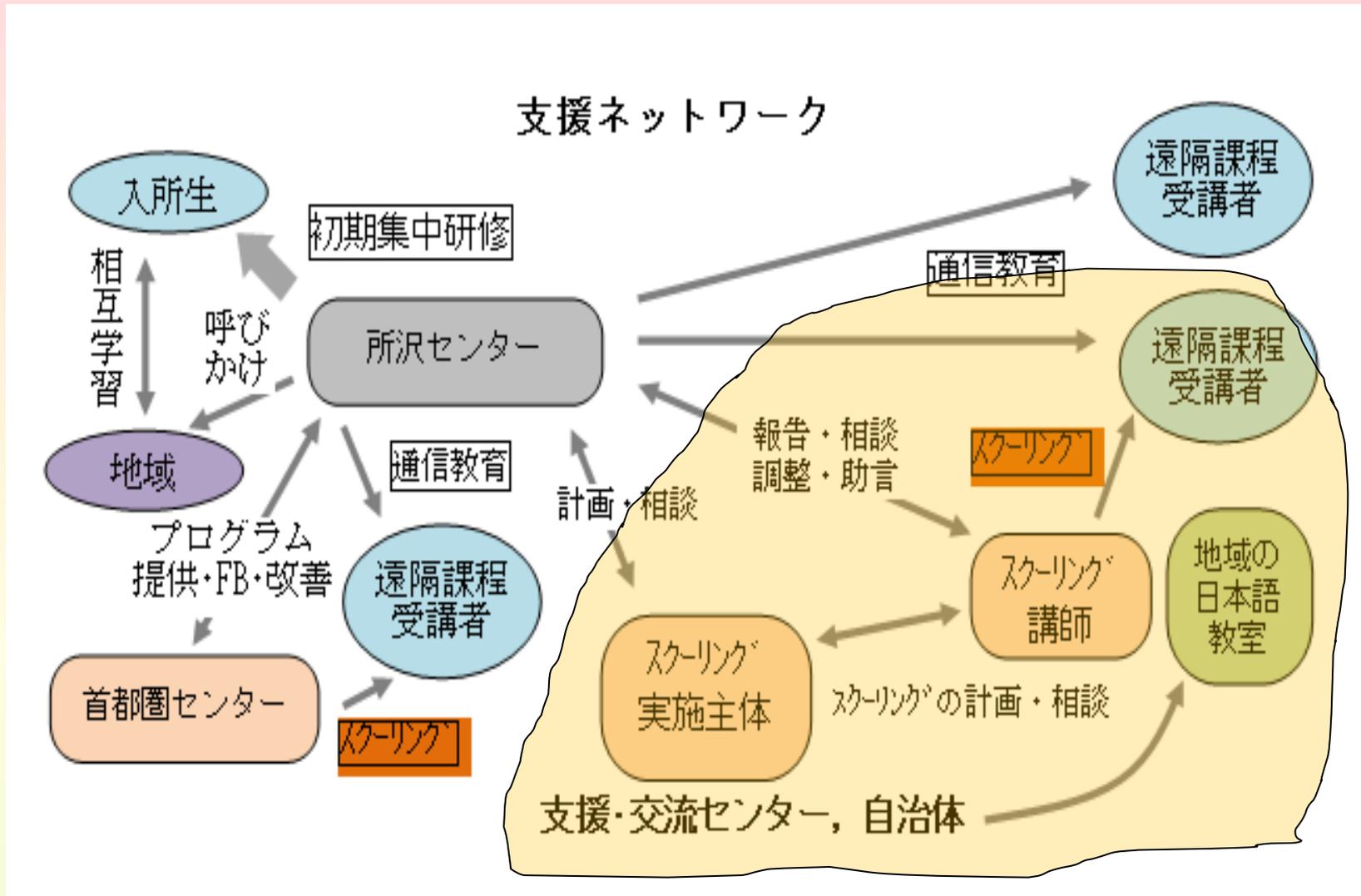


↑スカイプでおしゃべり

添削中↑

←電話での問い合わせに対応

2-3. 帰国者の公的な“生涯学習”支援システム



生涯学習体制を支えるサブシステム

★ ニーズ別コース [HOME > B\)所沢センター > 5\)遠隔学習課程](#)

- ・ 対面コミュニケーション…おしゃべりトレーニング、近隣交際
- ・ 言語知識 …日本語文法・文型、漢字語彙／高齢者向け漢字語彙
- ・ 行動場面 …交通、消費、医療、学校、求職、(介護)
- ・ 資格取得 …運転免許、職訓校入試、ヘルパー講座、日能試N2
- ・ 生き甲斐 …テーマ別自己表現作文(日本語学習／生活) 等

★ 地元で対面補習を受けられる「スクーリング」

☆ システムを生かすためのネットワークと

コーディネート機能の必要

☆ コミュニケーション力の一貫した尺度

「JSLコミカ水準」  [HOME > 教材・論文等 > センター紀要第12号](#)

3. 帰国者(生活者)のライフコース毎の 学習支援に向けての課題

3-1. 高齢者の課題

① 医療・介護の問題

- ・ 制度についての知識欠如
- ・ 「介護」の異文化

※ 帰国者を対象とした介護事業



帰国者二世による帰国者向けデイサービス施設「寿楽」

② QOL、メンタルヘルス

- ・社会的な孤立、生き甲斐の喪失
- ・一世本人が先に亡くなった場合の配偶者の老後生活

③ 「生涯学習」

- ・「ボケ」「引きこもり」防止として
- ・高齢者でも習得可能なことがある！

④ 高齢2世代

- ・異文化「老々介護」の二重苦
- ・老後の生活保障の不安



支援・交流センターの太極扇講座

3-2. 就労・子育て世代の課題

① 伸び悩み世代

② 就労とキャリア・アップ

③ 子どもを巡るコミュニケーション

就労実習中(所沢生)



- ・ 子育ての異文化
- ・ 子ども・学校との日本語でのコミュニケーションの限界
- ・ 「中国」に対する子ども社会の目

④ 一世の介護者としての悩み

3-3. 三・四世の子どもたちを巡る課題

① ことば …母語？vs「継承語」、double limited

☞ 高橋朋子(2009)『中国帰国者三世四世の学校エスノグラフィー』

② 学校生活適応 ☞ 齋藤ひろみ編著(2011)

『外国人児童のための支援ガイドブック』

③ 学力・進路保障

④ 文化的アイデンティティ →ミックスルーツとして

⑤ ドロップアウトの誘惑